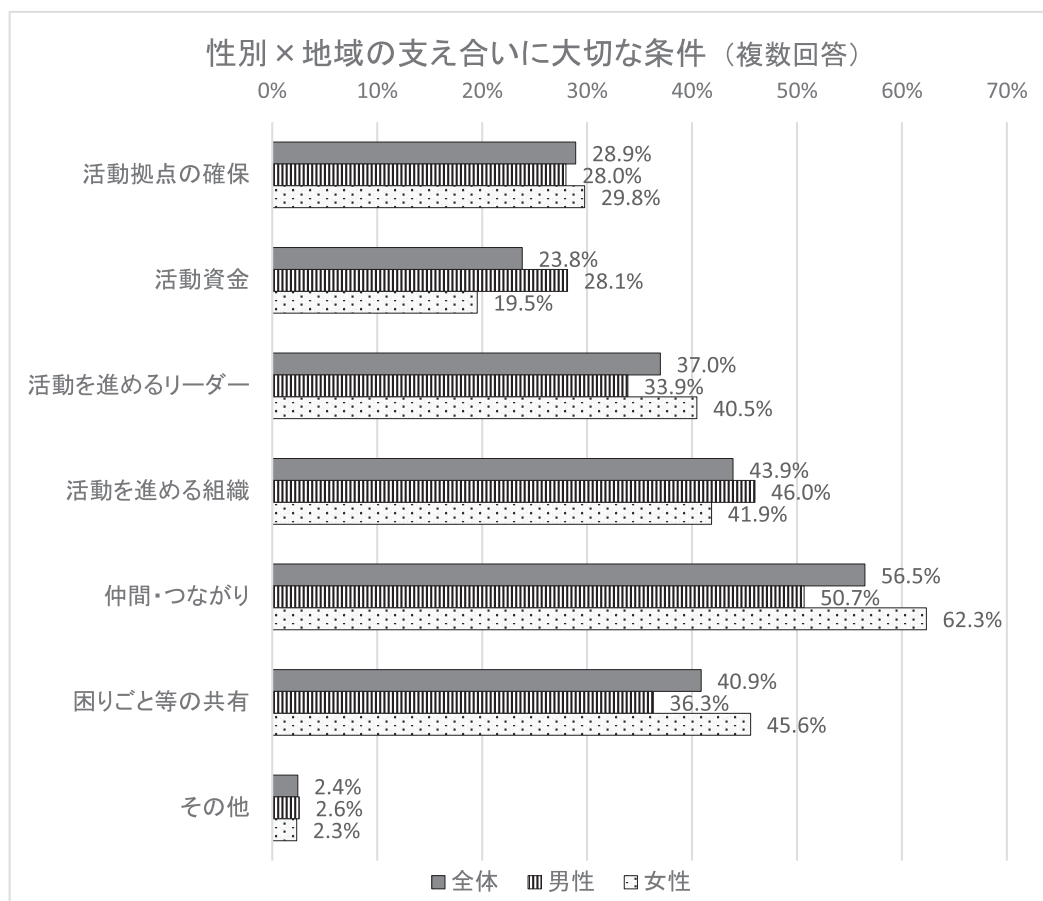


7 地域の支え合い活動

地域の支え合い活動（ご近所で困ったときに協力し合ったり助け合ったりすること）を進めるときに大切な条件や、高齢者や障害のある人など支援が必要な人を地域で支えるためにできることについて、調査を行った。

調査結果のポイント

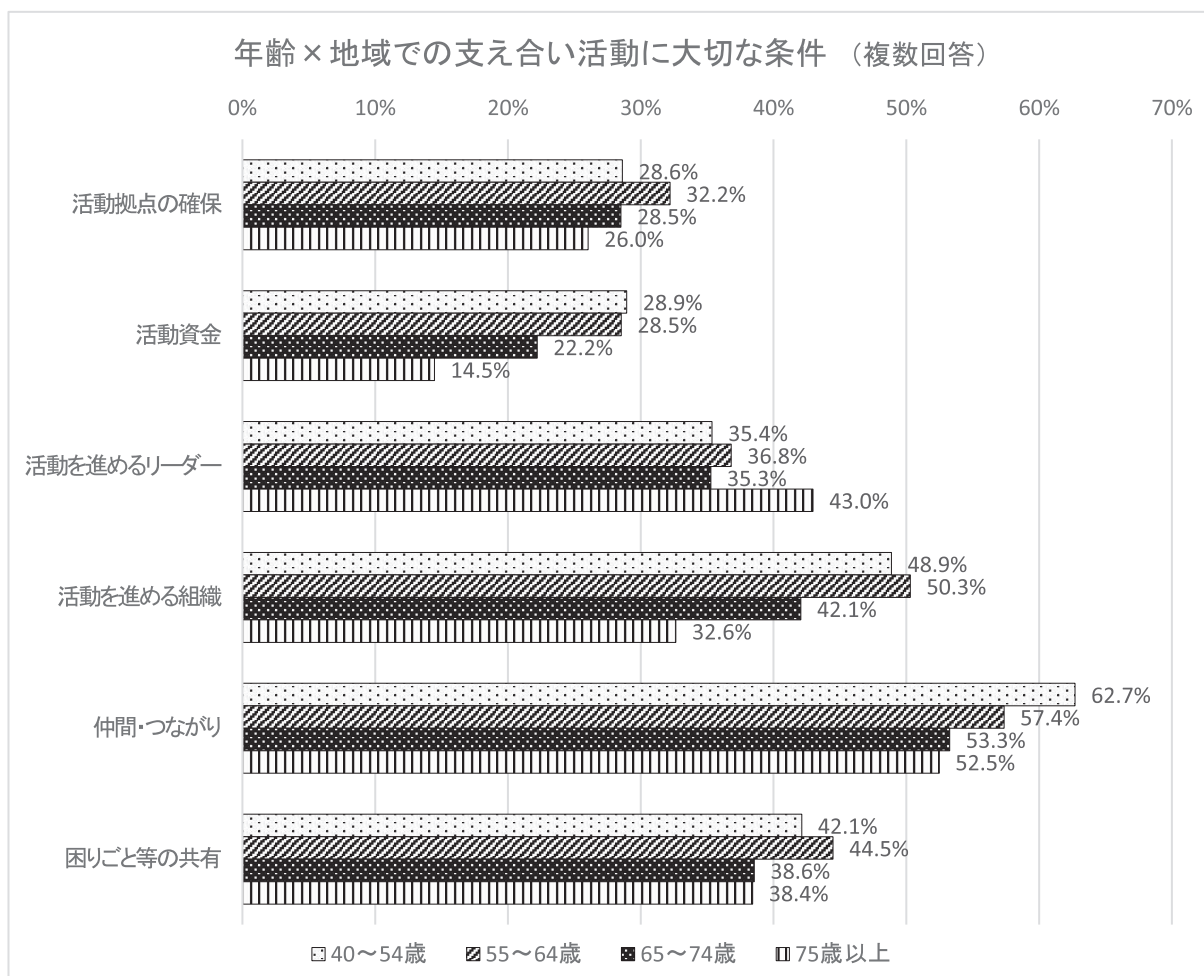
- 過半数の人が地域の支え合いに「仲間・つながり」が大切な条件と回答
- 約半数の人が支援が必要な人や家族に対する声かけと見守りができると回答



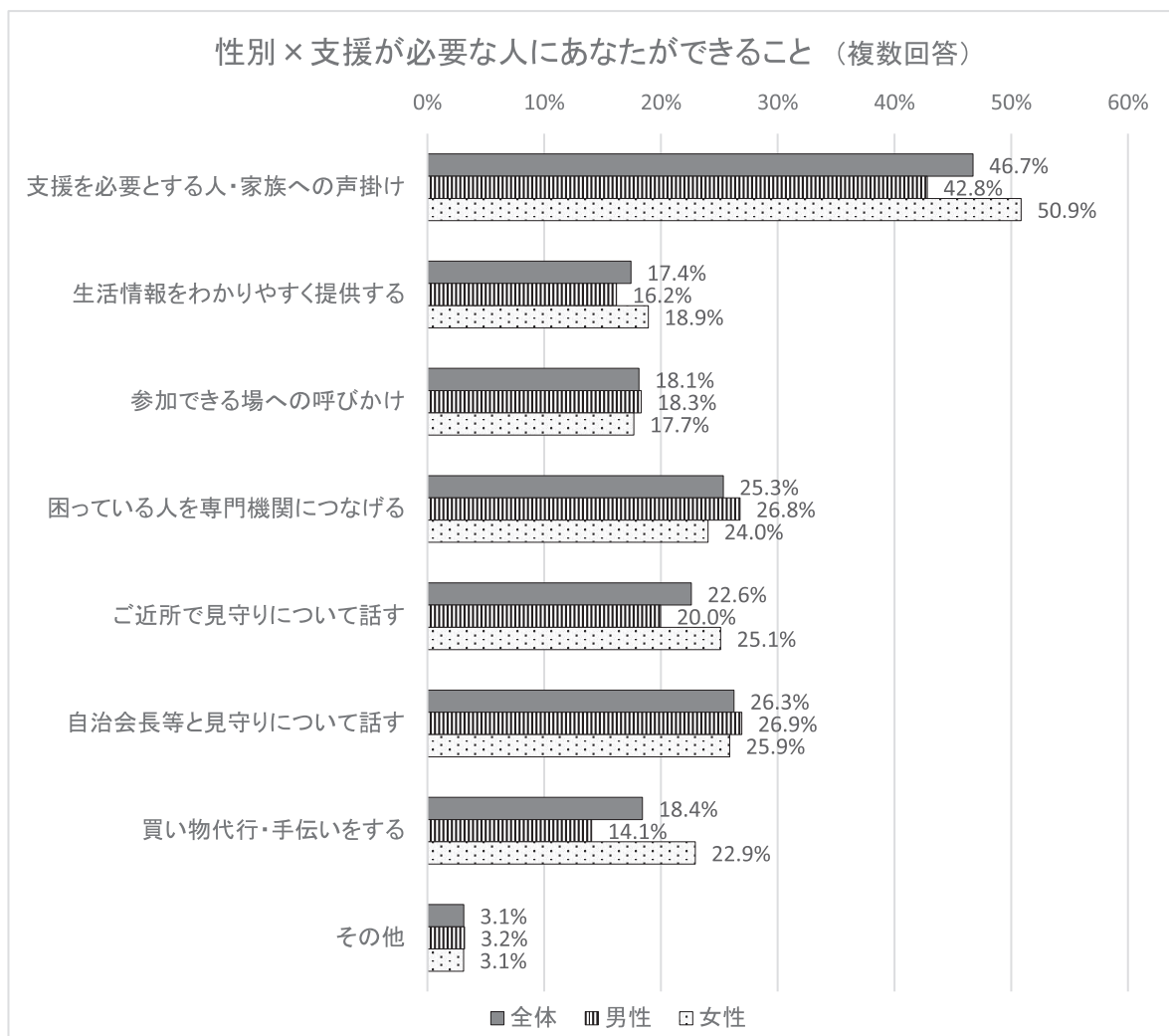
- ・全体で見ると、56.5%の人が「仲間・つながり」が大切と考えており、次いで「活動を進める組織」43.9%、「困りごと等の共有」40.9%となっている。
- ・男女別で見ると、第1位は男女とも「仲間・つながり」であるのに対し、第2位は、男性が「活動を進める組織」、女性が「困りごと等の共有」となっている。
- ・男性の方が女性より高い項目は、「活動資金」、「活動を進める組織」であるのに対し、女性の方が高い主な項目は、「仲間・つながり」、「困りごと等の共有」、「活動を進めるリーダー」等となっている。

（その他の回答）

地域の支え合いに大切な条件（複数回答）	
信頼関係	日ごろからのコミュニケーション
やってあげたい気持ち	ボランティアにいやな思いをさせない
移動支援	表面的なリーダーではなく内面の充実を望む



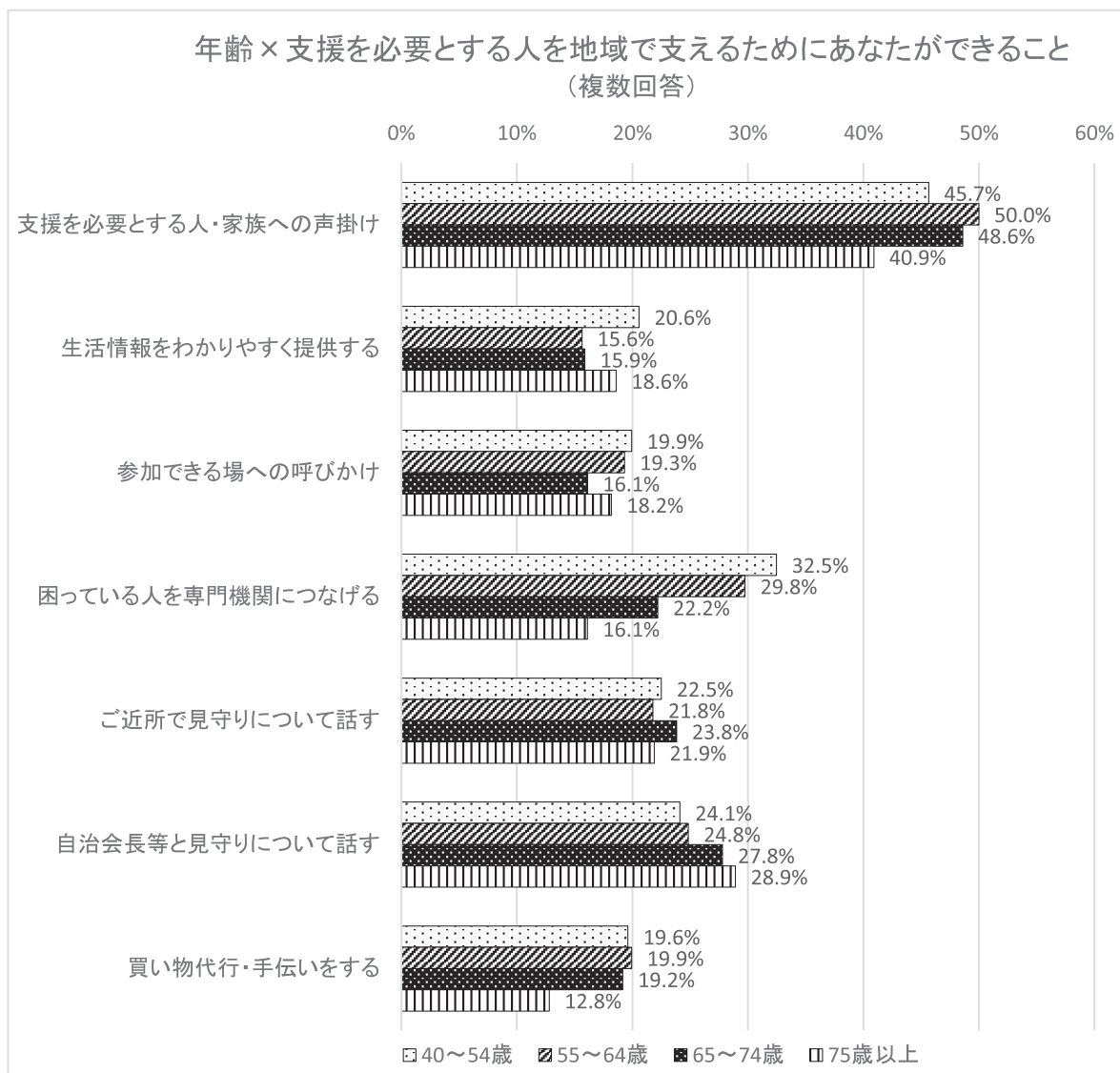
- 40～54 歳の方は、他の年齢と比べて「仲間・つながり」が大切であると考えている人の割合が高い。
- 55～64 歳の方は、他の年齢と比べて「活動拠点の確保」、「活動を進める組織」、「困りごと等の共有」が大切であると考えている人の割合が高い。
- 75 歳以上の方は、他の年齢と比べて「活動を進めるリーダー」が大切であると考えている人の割合が高い。「活動を進めるリーダー」以外の項目については、74 歳以下の年齢と比べて全般的に低い。
- 年齢が上がるにしたがって、「活動資金」と「仲間・つながり」は減少している。
- 40～54 歳から 55～64 歳でいったん上昇し、65～74 歳、75 歳以上にかけて減少している項目は、「活動拠点の確保」、「活動を進める組織」、「困りごと等の共有」となっている。



- ・全体でみると、「支援を必要とする人・家族への声掛け」ができる人が 46.7%と最も高く、次いで「自治会長等と見守りについて話す」26.3%、「困っている人を専門機関につなげる」25.3%となっている。
- ・男女別でみると、女性の方ができると回答した項目は、「支援を必要とする人・家族への声掛け」、「ご近所で見守りについて話す」、「買い物代行・手伝いをする」などがある。

（その他の回答）

支援が必要な人にあなたができること（複数回答）	
高齢者の話し相手	医療機関への送迎、夕食宅配のお届けなど
ゴミ捨て	庭の草取り、庭木の剪定等
声かけなど求められてなかったら？と思ってしまう	



- 40～54歳の人、他の年齢と比べて「生活情報をわかりやすく提供する」、「困っている人を専門機関につなげる」と回答した人の割合が高い。
- 55～64歳の人、他の年齢と比べて「支援を必要とする人・家族への声掛け」と回答した人の割合が高い。
- 75歳以上の人、他の年齢と比べて「自治会長等と見守りについて話す」と回答した人の割合が高い。
- 「困っている人を専門機関につなげる」と回答した人の割合は、年齢が上がるにしたがって減少している一方、「自治会長等と見守りについて話す」は、年齢が上がるにしたがって増加している。